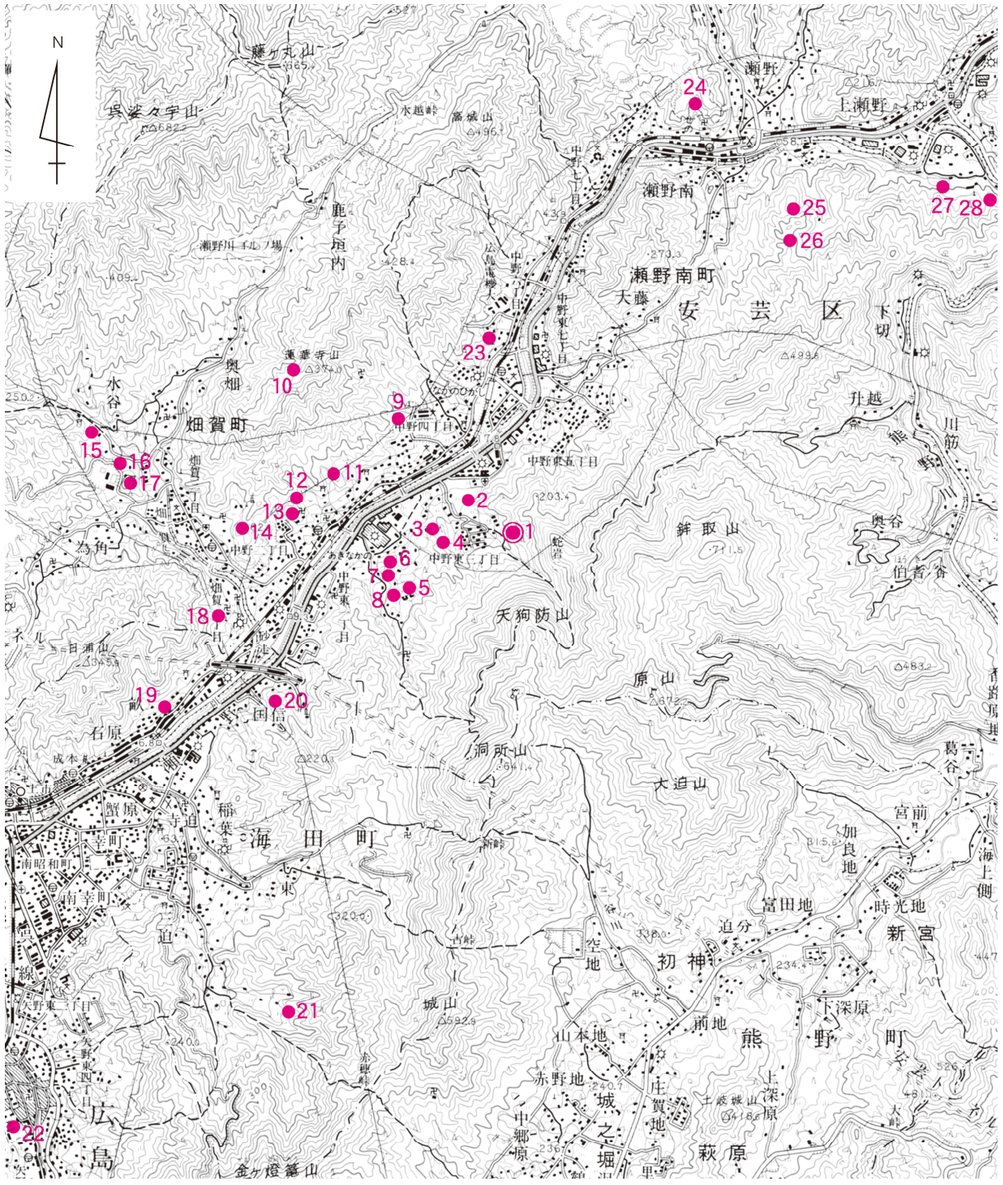
周辺の遺跡



1. 三谷遺跡　2. 備中遺跡　3. 山王貝塚　4. 花見山遺跡　5. 成岡貝塚　6. 成岡A地点遺跡
7. 成岡第4号古墳　8. 成岡B地点遺跡　9. 中野遺跡　10. 蓮華寺山頂遺跡　11. 川原地貝塚
12. 大師堂裏山古墳群　13. 大師堂裏古墳　14. 本郷遺跡　15. 水谷貝塚　16. 水谷遺跡
17. 古宮賀賀神社古墳群遺跡　18. 畑賀神社古墳群　19. 安芸国分寺跡　20. 上安井古墳　21. 畑谷貝塚　22. 矢野小学校校庭遺跡　23. 井原遺跡　24. 桑原東遺跡
25. 坂山遺跡　26. 一井木貝塚　27. 塔之原遺跡　28. 段之原山遺跡

三谷遺跡発掘調査に関するお問い合わせ

財団法人広島市文化財団文化科学部文化財課
〒732-0052　広島市東区光町二丁目 15 番 36 号　TEL(082)568-6511　FAX(082)568-6513
ホームページ http://www.mogurin.or.jp　　メール hbb@mogurin.or.jp

第３０回青空ミュージアム in

三谷遺跡（みたにいせき）

第二次調査

(広島市安芸区中野東町)

三谷遺跡は、鉢取（ほことり）山から西向きに伸びる尾根筋の南側、日当たり良好な斜面にある遺跡です。第一次調査では、東広島バイパス工事に伴い、平成 13～15 年まで現地調査を行い、24 軒の竪穴住居跡・16 か所のテラス状遺構・土坑 14 基などを確認しています。今回は安芸１区中野瀬野線の道路の建設に伴い、遺跡の記録保存を行うため、平成 21 年 10 月から発掘調査を行いました。



第一次調査時の航空写真
線で囲んだ範囲が今回の調査範囲です

（財）広島市文化財団　文化科学部　文化財課　2009 年 12 月

はじめに

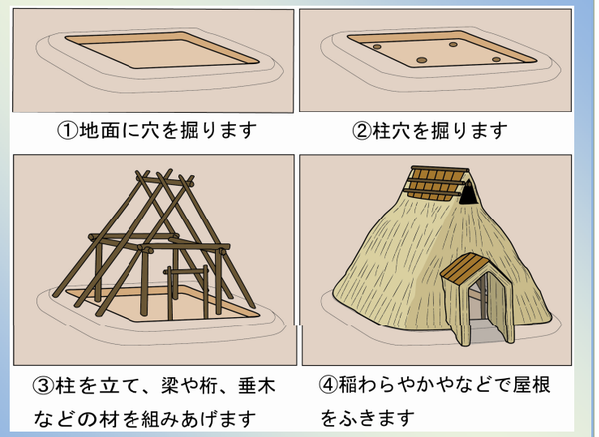
三谷遺跡は、瀬野川にそそぐ山王川が造る扇状地を見下ろす標高約90～100mの尾根筋の中腹に位置します。第一次調査では、弥生時代後期（約1900～1800年前）のムラの跡が見つかりました。その中には、広島湾岸で最大級の直径約10mの竪穴住居跡などが含まれています。

今回の発掘調査では、竪穴住居跡３軒・テラス状遺構２か所・土坑２基を確認しました。



復元された竪穴住居
安佐北区真亀の恵下山遺跡に復元された竪穴住居です

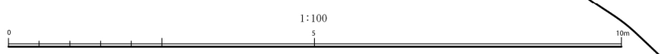
竪穴住居のつくりかた



その他にも、床の中央には炉をつくったり、壁ぎわに溝をほったりします。

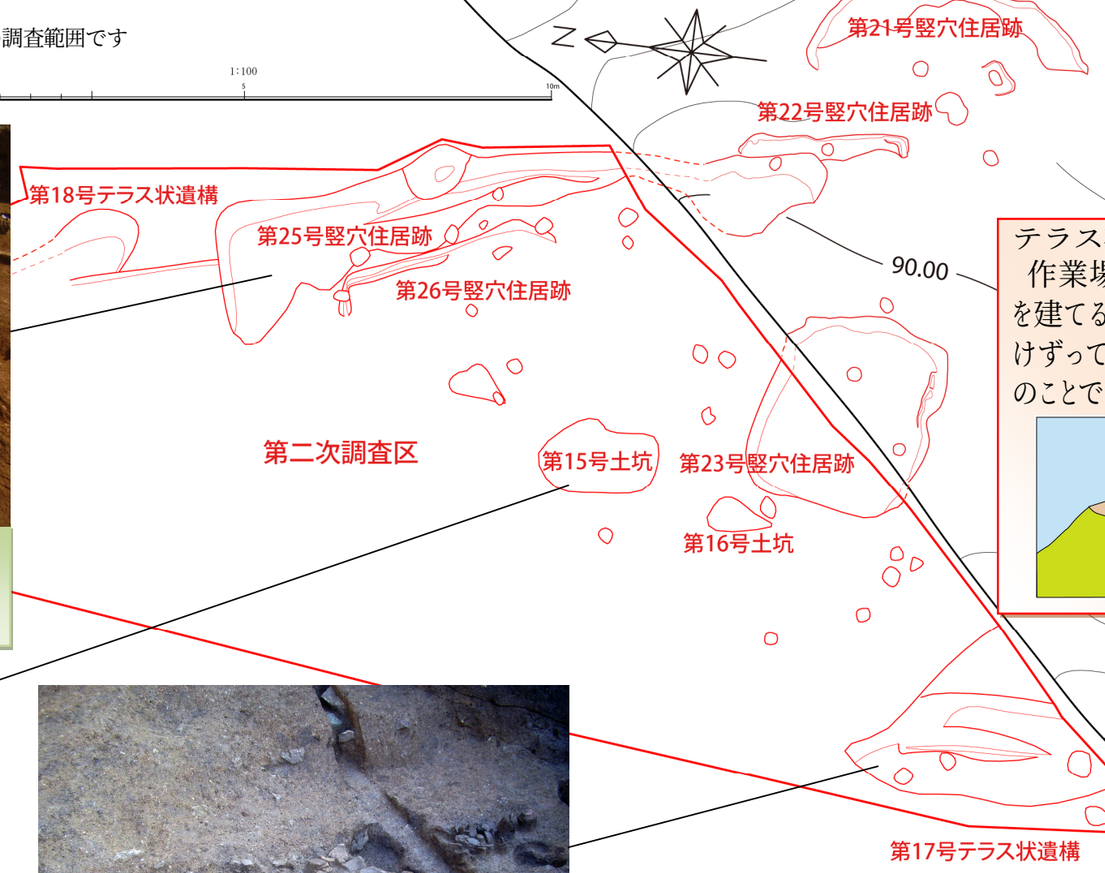
三谷遺跡　遺構配置図　S＝1／100

第二次調査区が今回の調査範囲です



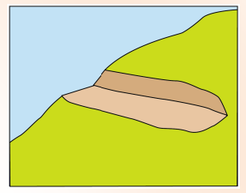


第 25 号竪穴住居跡
前回の調査区から続く、一辺の長さが約 10mの方形の住居跡です



テラス状遺構って？

作業場にしたり、建物を建てるために、斜面をけずって平らにした場所のことです。



出土した遺物

弥生土器片、やじりなどの鉄製品、銅のやじりや石の斧のかけらなどが見つかりました。



銅のやじり



鉄製品



第 15 号土坑
穴の中に、カキ殻や石が捨てられていました



第 17 号テラス状遺構
平らな面の上からたくさんの土器片が見つかりました

まとめ

- 残っていた部分が少ないものの、第一次調査に続き、広島湾岸では最大級の一辺約 10mの竪穴住居跡が確認できました。
- 第一次調査の成果とあわせて、弥生時代中期後半～後期初め頃(約 1900 年前)から、瀬野川流域にムラがつくられていることが確認でき、この地域の歴史を考える上で貴重な成果が得られました。